

**北海道上士幌：スギ花粉がないことを地域資源ととらえモデル調査でモデルツアーを実証実験、H19から旅行代理店が商品化**  
(上士幌町提案)H17年度モデル調査

【モデル調査 H17】

上士幌にはスギ花粉がなく、春先の自然を満喫するには絶好の場所  
モデルツアー参加者からは「症状が緩和した」と評価

旅行会社が「花粉症疎開ツアー」として商品化。本年3月の3泊4日のツアーを1月下旬から募集。



上士幌の雄大な風景



モデルツアーではソーセージ・アイスクリームづくり体験等を実施

**千葉県佐原：成田空港の乗り継ぎ旅客を歴史的なまちなみに誘客するため、NPOが空港と佐原を結ぶバスの運行を開始**  
(H17.11～)  
(佐原市(現・香取市)提案)H15年度モデル調査

【モデル調査 H15】

成田空港の外国人乗り継ぎ旅客向け観光ツアーを2週間実施し、ニーズを確認



約30分で成田空港 佐原を結ぶ

【地域をあげた取組に発展】

NPOが成田空港 佐原の4ヶ国語(英中韓日)対応バスを毎日運行(H17～)  
地元のおかみさん達も、歴史的なたたずまいを残した家や店を無料で公開(H19.1現在 42店舗加盟)



トランジット客を歴史的なまちなみに誘客

外国人観光客数が増加  
約400人(H14年度) 約6,000人(H17年度)

**石川県加賀：モデル調査で策定した計画に基づき町屋再生が本格化、補助制度を新たに創設**  
(H18.4) (加賀市提案)H17年度モデル調査



陶芸家の工房兼住宅として再生

城下町の面影を残す中心市街地「大聖寺」が衰退の一途  
町屋の空き家率が1割を越え、地域の活力も低下

【モデル調査 H17】

町屋の入居者を増やす方策を検討し、計画を策定

【市の施策に位置付け H18.4】

町屋の外観の修繕、構造の補強に対する補助制度を創設(H18.4～H19.1で5件適用)  
町屋の貸し手と借り手のマッチングを実施、陶芸教室、介護施設等として活用(H18.4～H19.1で4件成約)



大聖寺を訪れる観光客の憩いの場として再生

**愛知県豊川：モデル調査を契機として開始した中心市街地でのレトロなイベントに毎月2万人を動員**  
(豊川市提案)H16年度モデル調査

若手店主と地元住民が中心になり、「できることから始めるまちづくり」を合言葉に、レトロな商店街を地域資源と捉え、地元主体で昭和初期の雰囲気を活かしたイベントを実施。



店主が広告塔・ちんどん屋

様々な支援制度を活用し、賑わい創出の取組を加速

【モデル調査 H16】

・商店街における景観整備のニーズを調査  
・案内板の設置実験

【まちづくり交付金 H17】

・商店街の景観整備  
・案内板を本格的設置

【地域再生計画 H16】

・イベント実施のため道路使用許可の円滑化等

【がんばる商店街77選 H18】

・全国に情報発信



イベントで活気溢れる中心市街地

**宮崎県清武：地域住民が防災訓練と防犯活動の取組を継続**  
(助け合いのまちづくり協議会提案)17年度モデル調査

【モデル調査 H17】

NPOが防災と防犯の両面から地域の安全・安心度を高める活動  
防災については、図上、実地での災害訓練を実施  
防犯については、不審者情報配信を開始



防犯パトロール

【地域安全安心ステーション H17】

警察庁の支援制度を活用し、防犯パトロールを実施



災害訓練

【防災】H17の台風14号の経験を活かし、地元が主体となって災害訓練を継続して実施(H18.8)

【防犯】住民と警察が協力して道路橋脚とトンネルの落書き消しを実施(H18.11)



トンネル内の落書き消し

**沖縄県石垣：モデル調査がまちづくり交付金に発展し、離島の玄関口から中心市街地に人を導く取組を加速**  
(石垣市提案)H15年度モデル調査

【モデル調査 H15】

離島行き船が出入りする港の利用客(年間約180万人)を中心市街地に誘導する方策を検討  
玄関口(港)から中心市街地への誘導の社会実験(路面カラー化、案内板設置、案内マップ作成等)を実施  
港と中心市街地を結びつける方策についてのアンケートを実施



アンケート結果を踏まえ、16・17年度に都市再生整備計画を策定

【まちづくり交付金 H18採択】

地域が自主的に管理し、観光客・市民が集える広場「ゆんたく(おしゃべり)広場」を商店街に整備し、地元商店主組織が市の財政支援なしに管理運営する予定  
離島旅客ターミナルから中心市街地に至るアクセス・観光ルート整備(舗装・植栽)に向け、来年度ワークショップを開催予定



中心市街地の商店街